

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会募金に係る
平成 30 年度 取組実績 (案)

1 寄附の実績 (H31. 3. 31 現在)

平成 30 年度実績 59,358,321 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	14 件	44,530 円	
企業・団体	19 件	59,066,228 円	
イベント	23 件	112,972 円	街頭募金、スポーツイベント等での募金
据置き募金箱	—	106,091 円	
その他	1 件	28,500 円	びわ湖レイクサイドマラソン(チャリティーランナー (@500 円))
計	57 件	59,358,321 円	(使途) 競技力向上 348,144 円 施設整備 59,010,177 円

<参考>

年 度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	計
件____数	2 件	78 件	93 件	112 件	57 件	342 件
寄附金額	11,000 千円	20,066 千円	23,320 千円	30,425 千円	59,358 千円	144,169 千円

2 主な取組

(1) 個人

① 街頭やイベント会場での募金活動の実施

より多くの方に大会開催の周知と募金に協力いただけるよう、寄附返礼グッズとして、新たに大会マスコットキャラクターを活用したピンバッジを作成し、缶バッジやステッカーと併せてイベント等での募金活動で活用した。

また、県内アスリートの協力を得て、街頭募金活動を実施するとともに、大会マスコットキャラクターであるキャプフィー・チャップフィーと一緒に両大会の周知および募金活動を実施した。

➤寄附返礼グッズの作成

ピンバッジ 1,000 個

➤ 街頭募金活動 (9/21 J R 石山駅、J R 彦根駅) … ㊸

参加者：東レアローズ、江上陽子選手（パラバトミントン）、田中浩二選手（シッティングバレーボール）、立命館大学体育会ラグビー部およびバスケットボール部、びわこ成蹊スポーツ大学バスケットボール部、滋賀県スポーツ協会、滋賀県障害者スポーツ協会他 合計 75 名

➤ スポーツイベント等での募金活動

- ・滋賀県開催準備委員会第 6 回総会(5/21 琵琶湖ホテル)
- ・「みんなで創る 健康しが」キックオフイベント(7/21 イオンモール草津) … ㊹
- ・第 3 回 BIWAKO 湖フェス 2018 (8/4 サンシャインビーチ)
- ・日本生命みんなの 2020 全国キャラバン(9/1・2 イオンモール草津)
- ・全国市町村交流レガッタ(9/15 滋賀県立琵琶湖漕艇場)
- ・福井しあわせ元気国体・大会結団壮行式(9/20 ピアザ淡海)
- ・イナズマロックフェス(9/22~24 烏丸半島芝生広場) … ㊺
- ・交通安全フェア(10/13 ドラゴンハット) … ㊻
- ・近江ゆかりの会(10/16 東京：品川プリンスホテル) … ㊼
- ・ご当地キャラ博 in 彦根(10/20・21 彦根市夢京橋キャッスルロード周辺)
- ・ここ滋賀 1 周年記念イベント(11/3 東京：ここ滋賀)
- ・スポーツフェスティバル(11/10・11 イオンモール滋賀)
- ・びわ湖男女駅伝フェスティバル(11/25 希望が丘文化公園)
- ・Vプレミアリーグ(12/2 ウカルちゃんアリーナ)
- ・「食」が「健康」を考えるフォーラム(12/2 ビバシティ彦根)
- ・車いすバスケットボール大会 BIWAKOCUP2018
(12/16 におの浜ふれあいスポーツセンター)
- ・近畿マシンローイング大会(1/20 ウカルちゃんアリーナ)
- ・2024 国スポ記念講演(2/2 ピアザ淡海)
- ・びわ湖レイクサイドマラソン(2/24 烏丸半島(フィニッシュ地点)) … ㊽
- ・地域スポーツシンポジウム(3/3 立命館大学)

・びわ湖毎日マラソン大会（3/10 皇子山陸上競技場）

② クラウドファンディングの手法を用いた寄附募集の実施

「選手の発掘・育成および強化」「施設整備」にかかる寄附募集にあたり、手軽に、かつ気軽に寄附できる環境整備のため、クラウドファンディングを活用した寄附を募った。（実施期間：4/2～3/31 JapanGiving、19,000円（手数料控除前））

③ スポーツイベント等とのタイアップの実施

イベント会場での広報・募金活動の他、「びわ湖レイクサイドマラソン」でチャリティーランナーの募集において参加料の一部を寄附いただいた。

・びわ湖レイクサイドマラソンチャリティーランナー 57名 28,500円

④ 募金箱の設置箇所の拡大

県内のスポーツ施設の他、文化施設や民間施設への設置協力を依頼し、今年度、24カ所設置した。

・平成30年度末募金箱設置箇所 105カ所（平成29年度末 81カ所）

72,728円（3/26現在）

(2) 企業・団体

① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催周知と連動した寄附依頼

各種企業・団体への直接訪問や、団体の例会や企業に対する説明会等において、大会の開催準備状況を説明のうえ、寄附を依頼した。

・企業・団体：16回（うち出前講座も兼ねて実施したもの：6回）

② 寄附者にメリットのあるメニューの提示

県内外の企業・団体を幅広く訪問して寄附依頼を行うとともに、寄附者にメリットのある寄附手法をメニュー化して提示し、企業のニーズに応えられるような提案を行った。

③ マスコットキャラクターを活用した使用料の受け入れ… ①

企業等が商業目的で大会マスコットを活用し、使用料として受け入れた。

…使用料のため寄附額に計上はしない。

3 寄附金を活用した事業展開

① 「選手の育成および強化」のためにいただいた1,000万円については、平成30年度に実施した競技力向上事業に充当した。

➤次世代アスリート発掘育成プロジェクト 500万円… ㊦㊧

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約30名を選考。「滋

「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

➤**競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援） 200万円**

競技団体における障害者スポーツへの理解の促進を図りつつ、全国障害者スポーツ大会等において活躍できる選手を育成するための強化事業を実施

➤**ターゲットエイジ重点強化事業 300万円**

滋賀で開催する国スポにおいて少年種別の主力となる選手（ターゲットエイジ：小学校4～6年生）を指定し、重点的に強化事業を実施